

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	405 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号室・5F実習室・各実習機関
担当教員	石橋 康信、野崎 美樹	実務経験と その関連資格	作業療法士として病院・施設で勤務し、身体障害者領域・精神障害者領域で各疾患 に対して作業療法を实践。新人教育、実習学生の指導に携わる。			
《授業科目における学習内容》						
作業療法士となる覚悟、知識、関心を高め、能動的、主体的に問題解決的な学習態度を身につけるとともに、他職種について理解する。また、臨床教育指導者のもとで評価手段(観察、面接、検査・測定、治療プログラム立案)や治療手段などを体験的に学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
実習点数、症例発表・OSCE(客観的臨床能力試験)結果・提出物などを総合的に100%で評定する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書・参考書、文献等						
《授業外における学習方法》						
■実習前■:オリエンテーションや実習前準備を行う。実習前準備では、観察・評価法の復習、評価のまとめについてを学習し、OSCEにて臨床能力の形成評価を行う。■実習期間中■:「事前学習(30分):予定確認・準備」「事後学習(30分):記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案」が基本となる。■実習後■:学内での実習報告会、実習担当教員からのフィードバック、OSCEにて臨床能力の形成評価を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
指導は真摯に受け止め、主体的に行動に移すこと。基本的な学生としての身なり、立ち居振る舞いに気をつけること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	①臨床における体験を通して、対象者の作業療法内容を深く理解することができる。②実習生として学生らしく適切な態度や行動、礼節を取り、作業療法士の補助を行うことができる。		教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分)	
	各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)			事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)	
第2回	授業を通じての到達目標	①臨床における体験を通して、対象者の作業療法内容を深く理解することができる。②実習生として学生らしく適切な態度や行動、礼節を取り、作業療法士の補助を行うことができる。		教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分)	
	各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)			事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)	
第3回	授業を通じての到達目標	①臨床における体験を通して、対象者の作業療法内容を深く理解することができる。②実習生として学生らしく適切な態度や行動、礼節を取り、作業療法士の補助を行うことができる。		教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分)	
	各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)			事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)	
第4回	授業を通じての到達目標	目標①・②、③対象者に対し、評価が行える。		教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分)	
	各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)			事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)	
第5回	授業を通じての到達目標	目標①・②、③対象者に対し、評価が行える。		教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分)	
	各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)			事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)	

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③、④対象者に対し、評価から目標設定・治療プログラム作成が行える。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③、④対象者に対し、評価から目標設定・治療プログラム作成が行える。	教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③、④対象者に対し、評価から目標設定・治療プログラム作成が行える。	教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③・④、⑤対象者に対し、評価から目標設定し統合と解釈が出来る。治療プログラム作成が行える。	教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③・④・⑤、⑥対象者に対し、治療プログラムが実施できる。	教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③・④・⑤、⑥対象者に対し、治療プログラムが実施できる。	教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③・④・⑤、⑥対象者に対し、治療プログラムが実施できる。	教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③・④・⑤・⑥、⑦対象者に対し、再評価しながら治療内容の立案が考えられる。また、その治療プログラムが実施できる。	教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③・④・⑤・⑥、⑦対象者に対し、再評価しながら治療内容の立案が考えられる。また、その治療プログラムが実施できる。	教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	目標①・②・③・④・⑤・⑥、⑦、⑧対象者に対し、初期評価・再評価治療プログラムが実施でき統合と解釈ができる。	教科書・参考書・文献	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(11週間)		